

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2013-219608(P2013-219608A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-89553(P2012-89553)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/765 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/225 A

H 04 N 5/91 L

H 04 N 5/91 Z

H 04 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月10日(2015.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

他の装置の識別子を取得する識別子取得手段と、

撮像画像から所定のオブジェクトを検出する検出手段と、

所定のオブジェクトを特定するための特徴情報を、前記識別子取得手段により取得した識別子に基づいて取得する特徴情報取得手段と、

前記検出手段により検出された所定のオブジェクトを前記特徴情報取得手段により取得した特徴情報に基づいて特定するための特定処理を行う特定手段と、

前記特定処理の結果に応じて、前記識別子取得手段による識別子の取得を行わないよう制御する制御手段を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記検出手段により検出された所定のオブジェクトを前記特定処理により特定できない場合、前記制御手段は、前記制御を行わないことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記制御手段が前記制御を行わない場合、前記特定手段は、前記識別子取得手段により新たに取得した識別子に対応する特徴情報に基づいて、前記特定処理を再度行うことを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記検出手段により検出された所定のオブジェクトを前記特定処理により特定できた場合、前記制御手段は、前記識別子取得手段による前記識別子の取得を行わないよう制御することを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

記特定処理の結果が所定の条件を満たす場合、前記制御手段は、前記識別子取得手段による前記識別子の取得を行わないよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記所定の条件は、前記特定処理により特定された所定のオブジェクトのサイズまたは数に基づくことを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、他の装置に識別子を要求するメッセージを送信しないように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、他の装置から送信される識別子を受信しないように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記情報処理装置の動きを測定する測定手段を更に有し、前記識別子取得手段は、前記測定手段により測定された動きが所定の値を上回る場合は、他の装置の識別子を取得することを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記識別子取得手段は、既に取得している識別子を有する他の装置から識別子を再度取得しないようにすることを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記識別子取得手段は、既に取得している識別子を有する他の装置に対して応答しないよう指示するメッセージを含めた識別子取得要求を同報送信することを特徴とする請求項 1 乃至 10 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記特定手段により特定した所定のオブジェクトに関連付けて所定の情報を表示させる表示制御手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

他の装置の識別子を取得する識別子取得手段を有する情報処理装置の制御方法であって、

撮像画像から所定のオブジェクトを検出する検出工程と、

所定のオブジェクトを特定するための特徴情報を、前記識別子取得手段により取得した識別子に基づいて取得する特徴情報取得工程と、

前記検出工程において検出された所定のオブジェクトを前記特徴情報取得手段により取得した特徴情報に基づいて特定するための特定処理を行う特定工程と、

前記特定処理の結果に応じて、前記識別子取得手段による識別子の取得を行わないよう制御する制御工程と、

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 14】

コンピュータを請求項 1 乃至 12 いずれか一項の記載の情報処理装置として動作させるためのプログラム。

【請求項 15】

前記検出手段は、人物を検出することを特徴とする請求項 1 乃至 12 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 16】

前記特定手段は、個人を特定することを特徴とする請求項 1 乃至 12 、 15 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0005**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0005】**

上記課題を解決するための手段として、本発明の情報処理装置は、他の装置の識別子を取得する識別子取得手段と、撮像画像から所定のオブジェクトを検出する検出手段と、所定のオブジェクトを特定するための特徴情報を、前記識別子取得手段により取得した識別子に基づいて取得する特徴情報取得手段と、前記検出手段により検出された所定のオブジェクトを前記特徴情報取得手段により取得した特徴情報に基づいて特定するための特定処理を行う特定手段と、前記特定処理の結果に応じて、前記識別子取得手段による識別子の取得を行わないように制御する制御手段を有することを特徴とする。